

キャラクター名  
ルーメン、他多数

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス	ワークス	レネゲイトビーイングD	カヴァー	少女
	ウロボロス				
オプション		年齢	不明	性別	不明
覚醒	生誕	衝動	憎悪	初期侵食率	49%
出自	人類への興味	経験	相貌失認	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	0	1	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
悲哀は喪われた	白兵	2r				怨念の呪石+04+05 +9% 暴走付与、シオン判定D+[10(12)], ダメージ+2D
素手	白兵	2r	0	1		
思い出せない■■■の手	白兵	2r	4	12		00+01 +5% シオン【精神】判定+[10(12)]
忘却の彼方へ誘う腕	白兵	14r+10	4	12		02+03+06 +8%、C値8(7)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
怨念の呪石	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者"イフリートの腕"	P	N		
ともだち	P 忘却	N 忘却		
宇宙-そら-	P 懐旧	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シオン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズ"ネバ"	1	基+5	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 衝動判定D+Lv個、浸食率LvUPせず								
オリゾン:レジエント"	5	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: シオン中【精神】判定の達成値+[Lv*2]								
白熱	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 素手データ変更								
コンセントレイト:ウロボロス	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv (下限7)								
無形の影	1	4	Xジャー	-	-	-	-	
効果: あらゆる判定を【精神】で行える。ウロボロス1回								
背徳の理	5	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 与ダメージ時発動、シオン中ウロボロスの組み合わせにダメージ+[Lv*2]個								
極限暴走	1	3	常時	-	-	-	リミット	
効果: 「与ダメージ時発動」の効果は暴走時にも使用可能								
影絵の兵士	2	2	Xジャー	視界	-	-	-	
効果: 要無形の影、白兵の射程を視界に変更、攻撃力-[5-Lv]								
暴食の神蛇	1	4	Xジャー	武器	対決	-	80	
効果: 素手限定、対象はリアクションでIF外使用不可、IF外効果の装甲無効								
シャドウガイバー	★							
効果:								
傍らの影法師	★							
効果:								
ディメンションゲート	★	3						
効果: 基+1								
効果:								

ルーメンと自称するレネゲイトビーイング。人間の原初の恐怖である闇がオーヴァードと化したと言われているが、真意は不明。少なくとも紀元前には既に存在していたと記録がある。名前については「カンデラ」「ルクス」「ニト」などと名乗ることもあるが、全て光に関わる単位であり偽名。...もとより名前などないのかもしれないが経緯は不明だがUGNに対しては協力的...と言うよりはFHに対して嫌悪感を示す。レネゲイトビーイングではあるがウロボロスであり、ゼノスからは特級の抹殺対象。FHからは珍しい実験体として見られている為、敵対的。UGNからは「Darkness・ONE"太古の闇"」FHからは「Abyss walker"深淵渡り"」ゼノスからは「Unknown mind"無形の怪物"」と呼ばれる。

神出鬼没であり長く同じ場所に留まる事が無かったが、ある時気まぐれから難病に伏していた少女と交流を図る。自身を興味悪がらない彼女に対し興味を惹かれつつあったが、FHによる実験に巻き込まれてしまう。そしてその実験に利用され病気は完治するもののジャームとして暴走、UGNと協力して救助に駆けつけるが時すでに遅く既に衝動のまま破壊を行う炎の魔神と化していた。何とか戦闘不能まで追い詰めるが、情が移ってしまいドメを刺すことが出来ず、彼女を取り込んだ。その結果、常に彼女の暴走を抑える為に力の大半を注がざるを得ない為、以前に比べてだいぶ弱体化してしまっている。何とかして人の形を保っているが、その代償は大きく、一部感情の欠落が見られる。自らの記憶に蓋をしており、当時何があったかを正しく認識していない。周囲には知られていないが、同時に相貌失認を患っており他者を顔で認識できない。かつての彼女が送るはずであった日常を破壊したFHを憎んでおり、UGNに協力している。